

## 国際未来教育基幹

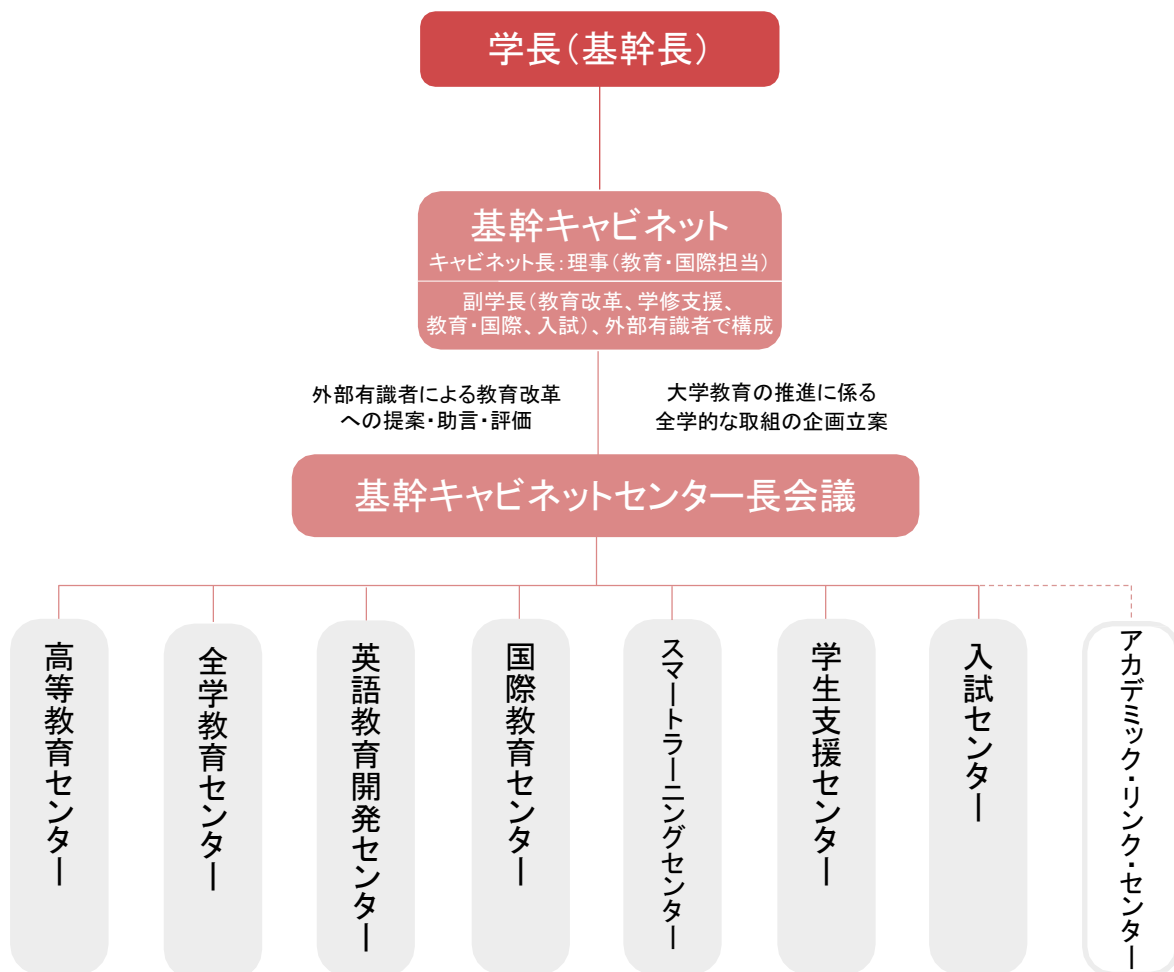
国際未来教育基幹は、学長のガバナンスを確立し、学長のリーダーシップの下、学士課程から大学院課程を通じて一貫した教育改善を行う組織です。教育全般のグローバルスタンダードを実現することによって、本学の教育の国際通用性を高め、世界水準の教育実践により、次世代人材の育成を目指します。

国際未来教育基幹の基幹長は学長がつとめ、これによって意思決定の迅速化と円滑化を図っています。さらに、本基幹を実質的に機能させるため、「国際未来教育基幹キャビネット」を設け、基幹キャビネット長を教育・国際担当理事がつとめるとともに、海外の高等教育事情や先進的な教育実践に精通している複数の人材(外部有識者)を構成員に加えています。キャビネットの外部メンバーは、本学の教育改革及び先導的プログラムに関する提案、助言及び評価を実施し、教育のグローバルスタンダードへの対応を推進するアドバイザー・ボードの役割を果たしています。

また、学長のガバナンスにより、全学教育マネジメント機能を強化し、教育改革を加速化させる

ため、国際未来教育基幹キャビネットの下には、複数の機能別のセンターを配置しています。これらのセンターは教育改革の実施機関として、全学的見地から、それぞれ普遍教育・英語教育・国際化教育・教育のDX化・学生支援・入試改革・学修支援等を担っています。各センターでは、これらの取り組みを推進するにあたって、社会やステークホルダーから求められる教学改善を自律的・継続的に行うための「PDCAサイクル」を内部質保証システムとして構築しています。

更に、令和3年7月に策定された千葉大学ビジョンを踏まえ、第4期中期目標期間に向けた次世代人材育成計画を策定し、令和4年4月には国際未来教育基幹を再編・強化しました。特に新設の高等教育センターは、研究大学にふさわしい全学的な教育改革を実現するために、大学院教育の拡充や新たな教育プログラムの開発を先導するとともに、それらの改革の基盤となる教育データを収集・分析するデータ駆動型の教育改革を牽引しています。



<国際未来教育基幹組織図>